

中信ビジネス情報誌

ANA NA NA

たのた

2023 Vol.152
Business information magazine

特集 [伝統工芸を継ぐ]

株式会社村山木工

伝統を尊ぶ心で、
革新をつくる。

【経営者列伝】

電子部品からマスクフレームまで
時代を先読みするものづくりで社会の一翼を担う
エンゼル工業株式会社

【この企業にこの技あり】

軽くて薄くて曲げられる
日本発の次世代太陽電池
株式会社エネコートテクノロジーズ

【景気動向調査】

特集「伝統工芸を継ぐ」
株式会社村山木工

指物師
村山伸一氏

1963年、京都市生まれ。父のもと木工の道に入り、有職雛人形で知られる丸平大木人形店で研鑽を積む。1996年に独立して村山木工を興して以来、伝統と革新とが共存する独創的な木工芸品を世に送り出している。

革新をつくる。

伝統でありながら、革新。
気鋭の指物師・村山伸一のものづくりは、
そんなふうには言い表せよう。

彼の手がける作品は、いつだって自由。
古来の木工技術を忠実に踏襲しつつ、
時代のニーズを満たすために

それらを自在に組み合わせさせてみせる。

「守破離」の言葉を

地で行く職人が希求するのは、
「求められる伝統」である。

釘を一切使わず、切り欠きや溝を入れた
木と木を組み合わせる調度品、それ
が指物だ。家具、茶道具、雛人形など、京
の地でも古くから多種多様な指物が作ら
れてきた。かたや村山さんの手から生み出
されるのは、指物を基礎に組子をはじめと
した木工の諸要素を組み合わせた、ハイブ
リッドな作品群。神殿を壮麗に彩る装飾
パネルも、優美な曲線を描くモダンなランプ
シェードも、工程を一つひとつ解体して見てみれ
ば、職人が連綿と受け継いできた技の集合
体であることが分かる。いにしへの匠の目に、
彼の姿はどのように映るだろうか。そんな
ことを考えながら、京都市の郊外、田園風
景の広がる京北町のアトリエに、若手職人
とともに製作に精を出す村山さんを訪ねた。

伝統を尊ぶ心で、



2022年夏にはカフェ、ショールームの機能を備えたシェアオフィス・マッシュルームをアトリエそばにオープン。クリエイターの出会いの場になってほしいと期待を寄せる。

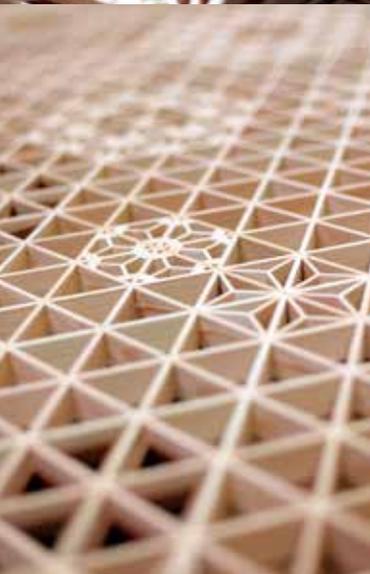
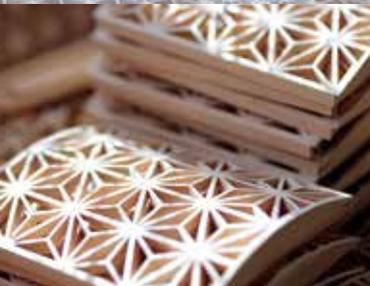


ロツク漬けだった青年が、 博覧強記の職人になるまで。

有名ホテルの内装から照明器具まで――
伝統の枠にとらわれない製作活動で
注目される指物師のキャリアは、ひと筋縄
にはいかない。額縁専門の木工所に生ま
れながら、高校を卒業後にのめり込んだ
のは音楽の世界。ドラマーとして身を立
てると決意した息子に、職人気質の父は
勘当を言い渡した。潮目が変わるさうかけ
は、父が病床に伏したことだ。
「勘当が取り消しになって、帰ってこい
と(笑)。ただ、こちらも将来に不安を持ち
始めていた時期だった。幼いころから親父
の仕事を手伝っていたので、仕事に慣れ
るのにそう時間はかかりませんでした」
ミュージシャン時代も独自性の強い音楽
を志向していた青年が、額縁だけで飽き

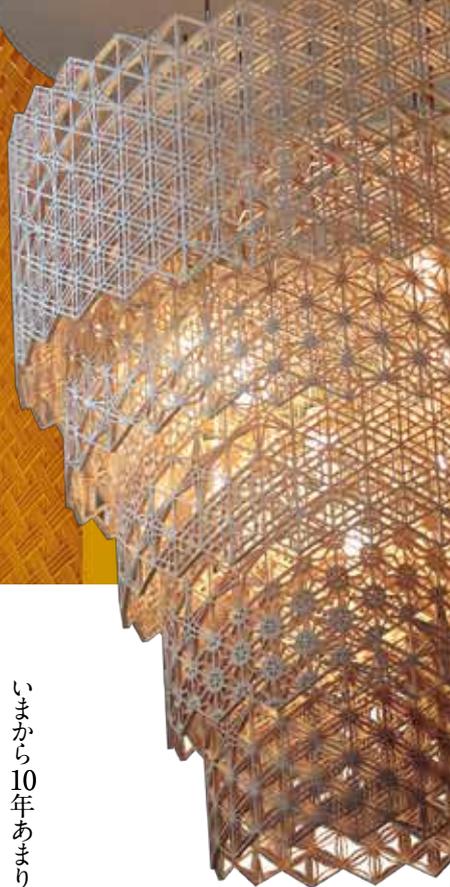
足らなくなるのに時間はかからなかった。
古い文献をひも解いては日本の木工文化
の粋に触れ、人にはできないものづくりが
したいと考えるようになった。そんな矢先
の1991年、縁あって江戸中期から続
く有職雛人形の老舗・丸平大木人形店
を紹介され、指物の製作を開始する。
「江戸時代の職人による名品を自分の
手で分解・修復することで、指物の構造や
細やかな技を理解できる。自分が推理した
通りの技術が使われていたときの快感に
魅せられ、どんどん夢中になっていきました」
そのかたわらでは、京都文化博物館の
映像アーカイブに通い詰め、往年の名工
が腕を振るう姿にかじりついた。旺盛な知
的欲求が向けられる先は木工にとどまらず、

陶芸、漆芸、染色にまでおよんだ。それも
そのはず、特定の師につくことでのその人の
「匂い」がつくことを嫌ったというのだ。
のちの作風にもつながる自由な発想の
源泉は、この国が培った伝統工芸への敬意
と膨大な知識量にこそ見出せるのである。
日本伝統工芸展への入選、雅子妃殿下
への雛道具の提供など、輝かしい実績を
積んだ村山さんは1996年に独立。
京北町に小さなアトリエを構え、自らにしか
なしえない技に磨きをかけていった。





作品の獨創性は伝統工芸の枠を越えて広く評価。建築を学ぶ学生が授業の一環で神殿を見学するほか、大手電機メーカーからはプロダクトデザイナー向けの研修の依頼も。



縦に割った組子の側面に角度をつけることで、曲面の表現が可能に。ラインの太さを均一にするため、縦向きの材を太めにすることで、のこぎりの刃による摩耗を克服している。



いまから10年あまり前、村山さんは大きな転機を迎える。旧知のデザイナーを通じて、パレスホテル東京の神殿を組子で装飾してほしいと依頼されたのだ。組子とは、無数の木片を組みつけて幾何学的な文様を表現する、飛鳥時代以来の伝統技法。多くは障子や欄間などに用いられ、空間全体の装飾は異例だった。

「当時は小物ばかりを扱っていて、建築案件はおろか組子の経験もない。いま思えば無謀でしたが、『できるで』と即答しました」

一度やると言った以上は引き返せない。大量の木材が納まる廃工場を新たに借り、納入先の環境を再現した。そこに高価な木曽檜を迎え入れ、手探りの大仕事に打ち

京組子という旗印を得て、創造のための継承は続く。



「妥協のない仕事をする以上、楽しく働ける環境にしたい」との意図から、アトリエにはジャズが流れる。

込んだ。製作には、組子に加えて指物、挽物、曲物といった技術も総動員。頭の引き出しを何度も開き、技と技とを組み合わせて、扉や天井を飾るパネルを形にしていた。一年半にもおよぶ格闘の末、伝統に裏打ちされたモダンな儀礼空間が完成した。

組子の神殿は評判を呼び、ホテルや商業建築の空間装飾はビジネス牽引の大きな核になる。また、あるオフィスビルのランプシェードの仕事が発展させる形で、平面の部材から真円を描くことも可能な曲面組子を開発。つかんだチャンスをとことんものにするのは、伝統工芸を絶やしてはならないという強い意志の表れだ。

2022年には一連の技術を「京組子」

の名で商標登録、ブランディングを本格化させた。

「組子って、実は厳密な定義がないんです。その反面、我々の作品は組子以外の技術も使う。ならば、より自由な枠組みとして京組子を名乗ろうと。清水焼、西陣織と同様に京組子が認知されれば、京北町に工芸品の産地という新たな一面が加わると思うんです」

そう展望を語る村山さんの願いは、経営の一線を離れて純粋な職人に戻ること。すでにその算段はつけているという。木工の持つ可能性を誰よりも実感する男が、職人としての自由を取り戻すとき、京組子は果たしてどのような価値を帯びているだろうか。

電子部品からマスクフレームまで 時代を先読みするものづくりで 社会の一翼を担う

エンゼル工業株式会社

代表取締役会長 佐藤 博文氏(左) 代表取締役社長 佐藤 一成氏(右)



伏見区、羽束師神社のすぐ隣にある電子部品メーカー・エンゼル工業株式会社。1961年の創業以来、親子三代にわたって守ってきた経営姿勢とこれからの展望を、佐藤博文会長と佐藤一成社長に伺った。

お客さまの要望に応えながら常に一手先を考える

創業者の佐藤重信は、京都市内のある有名電子機器メーカーと深いおつきあいがありました。その企業から、協力工場としてやってくれないかとの声をかけていただいたことがきっかけで創業したのが、エンゼル工業の始まりです。設計が得意だった重信は、マイクロスイッチやビデオ用のコネクタを中心に、設計から製造までを請け負っていました。

ビデオ用のコネクタは最盛期には月産約1,500万個を出荷していたのですが、製造技術の進歩によるビデオ用基板の小型化で、コネクタを使用する箇所も少なくなっていました。さらにはビデオ自体の需要が減少していく中で、エンゼルとして何を造っていくのか。そう考えた重信は、お客さまが真に必要とするスイッチの試作・量産にシフトしていきました。例えば、水位を制御できるスイッチや、大型クレーンを操作するためのスイッチ、食品加工工場で使用するための、水洗い可能でロック機構が付いたスイッチなどです。また、太陽光発電の可能性にもいち早く着目し、大手メーカーからの依頼を受け、ジャンクションボックス※を開発。最盛期には、月産20万個製造するほどのヒット商品に成長しました。(会長 佐藤博文氏)



▲太陽光発電モジュール用ジャンクションボックスは、同社オリジナルのものも含め数十種類を開発している。

※太陽電池から電気を取り出す部品

三現主義に徹してお客さまとの絆を深める

私は大学を卒業してすぐに外資系の製薬会社に入社し、営業として働いていました。父からは「戻ってこなくて良い」と言われましたし、私自身、営業の仕事を続けていくつもりでした。ところが2年ほど経った頃、オイルショックで日本全体が不景気に襲われました。父から「帰ってきてほしい」と頼まれた私は、やむなく当社に戻ることになったのです(笑)。

引き合いも少ない中、私たちは、仕事の有無にかかわらずお客さまの元に通い詰め、地道に関係を築き上げていきました。「うちの会社の制服着る？」と言われたこともあったほど、お客さまに深い信頼を寄せていただき、少しずつ受注につながっていったのです。そうしてできた信頼関係には、スピードでお応えしました。まだメールもFAXもない時代に、通常であれば図面の作成から試作まで半年掛かるものを、当社は一カ月以内に持つて行きました。



▲「ケーブル巻取切断機」はケーブルの測長と巻き取り、切断を一台で行うことができる。



▲コロナ禍に開発した「エンゼルマスクラック」は激しい運動でもずれにくいマスクフレーム。30種類以上の試作を経て完成した自信作だ。



▲太陽光用部品は屋外で使用されるため耐久試験等、非常に厳しい試験が要求される。

父から徹底的にたたき込まれたのは、あくなき「三現主義」です。実際に「現場」で「現物」をよく観察して、「現実」を認識したうえで問題解決にあたること。それは私だけでなく、他の社員たちにも引き継がれています。(会長・佐藤博文氏)

異業種から転職して
攻めの営業スタイルを構築

私は学校を卒業後、あるFMラジオの放送局傘下の制作会社に就職。将来はディレクターになりたいと考え、その会社では音声と映像の勉強をしました。ずっとこの華やかな業界で仕事を続けていきたいと思っていたのですが、ある時、バブル景気崩壊にもなっており、当時の経営状況が非常に厳しいことになっていくと知ったのです。幼少の頃から、よく見学したり遊んだりしていた工場が危機に瀕している。そう思うと、いてもたってもいられない気持ちになり、エンゼル工業に転職することを決意しました。

入社当初は製造を担当していたのですが、図面を描ける社員がいなかったため、CADを独学で勉強しました。図面が描けるようになったことで、お客さまから依頼されたものを作る、受け身の仕事から、提案型の攻めの営業に転じることができたのです。

お客さまからのご要望を聞き、図面を起し、試作品を作って最短3日でお届けすることができるとこの体制は当社の強みの一つとなっており、営業担当は全員CADを扱える「営業技術者」でもあります。(社長 佐藤一成氏)

攻めの営業スタイルを構築

私は学校を卒業後、あるFMラジオの放送局傘下の制作会社に就職。将来はディレクターになりたいと考え、その会社では音声と映像の勉強をしました。ずっとこの華やかな業界で仕事を続けていきたいと思っていたのですが、ある時、バブル景気崩壊にもなっており、当時の経営状況が非常に厳しいことになっていくと知ったのです。幼少の頃から、よく見学したり遊んだりしていた工場が危機に瀕している。そう思うと、いてもたってもいられない気持ちになり、エンゼル工業に転職することを決意しました。

入社当初は製造を担当していたのですが、図面を描ける社員がいなかったため、CADを独学で勉強しました。図面が描けるようになったことで、お客さまから依頼されたものを作る、受け身の仕事から、提案型の攻めの営業に転じることができたのです。

お客さまからのご要望を聞き、図面を起し、試作品を作って最短3日でお届けすることができるとこの体制は当社の強みの一つとなっており、営業担当は全員CADを扱える「営業技術者」でもあります。(社長 佐藤一成氏)

ものづくりの楽しさを
次代へつなぐ

現在、特に若い世代では製造業離れが進んでいます。このような状況の中、ものづくりの面白さを伝えていくことは、私たちの使命だと考えています。

今年2月には、地元の中学校で講義をさせていただき、ものづくりの楽しさを生徒の皆さんにお話ししました。また夏頃には、当社の3階に新たに設置する「エンゼルものづくりラボ」(仮)を一般公開する予定です。ここでは、子どもから大人まで、誰でも自由に3Dプリンタを使ったものづくりを体験いただけます。こうした場所を提供することで、製造業を活性化するとともに、地域の発展に貢献できればと思っています。(社長・佐藤一成氏)



▲2021年には「京都市 輝く地域企業表彰」を受賞。地域貢献に率先して取り組んできた功績が評価された。

沿革

- 1961年 佐藤重信が「エンゼル工業有限公司」を設立
- 1969年 「エンゼル工業株式会社」に変更、現在地に移転
- 1970年 世界最小の超小型マイクロスイッチを開発
- 1977年 太陽光発電モジュール用ジャンクションボックスを開発
- 1984年 佐藤博文が代表取締役社長に就任
- 1997年 オリジナルジャンクションボックスA-BOXを開発
- 2014年 佐藤一成が代表取締役社長に就任

エンゼル工業株式会社

太陽光発電用ジャンクションボックス、スイッチ、コネクタの設計から量産、治工具類の設計・開発までを一貫して手掛け、オーダーメイド・カスタムメイドにも対応する。太陽電池を「作る」から「守る」へを合言葉にメンテナンス製品の開発にも取り組んでいる。



〒612-8486
京都市伏見区羽東師古川町205-4
TEL:075-921-7311
FAX:075-933-6038
URL : <https://www.angel-k.co.jp/>

この企業に この技術あり

株式会社エネコートテクノロジーズ
EneCoat Technologies Co., Ltd.

軽くて薄くて
曲げられる
日本発の
次世代太陽電池

水力発電、風力発電などと共に再生可能エネルギーとして期待されている太陽光発電。日本では、二酸化炭素の排出量を2030年までに46%削減(2013年比)するという目標に向けて、グリーン成長戦略をはじめとした脱炭素化への取り組みが進んでいる。しかし一方で、太陽光発電の問題が浮き彫りになってきたのも事実だ。

2012年の固定価格買取制度をきっかけにシリコン系太陽光パネルは急速に普及したが、その寿命は15〜20年程度といわれており、十数年後には大量廃棄の時代を迎えるというデータもある。そんな中、新たな太陽光発電方式として「ペロブスカイト太陽電池」の存在が注目を集めている。今回はその太陽電池を開発している京都大学発のスタートアップ企業、株式会社エネコートテクノロジーズを訪ねた。

「ペロブスカイト」とは何か？

そもそもペロブスカイトとは、今から約200年前にロシアのウラル山脈で鉱物学者のレフ・ペロフスキーによって発見された鉱物(灰チタン石: CaTiO_3)のことをい、3種類の物質でできた結晶を指す。結晶とは、物質が規則正しく配列している固体のこと。「 ABX_3 」の化学式で表されるその結晶構造は独特で、「ペロブスカイト構造」または「ペロブスカイト型」とよばれる。この結晶構造を持つ物質は無数にあり、また、さまざまな物質を合成して作ることもできる。そのため、それらを総称して「ペロブスカイト」と略してよぶのが一般的になっている。

もともとペロブスカイトは、超伝導やICチップ、センサーなどの材料に使われていた。有機物を含むものについては、光電変換材料として電気→光の研究が先に行われてい

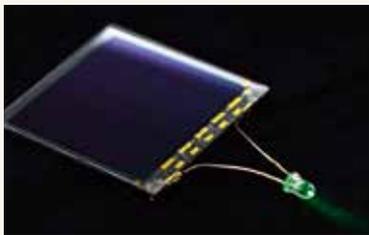




モノづくり立国の健在を この電池でアピールしたい

代表取締役 加藤 尚哉 氏

ペロブスカイト太陽電池は「低照度で発電できる」というのが大きなメリットですので、例えばテレビのリモコンのように、使用電力の少ない家電で実用化ができるかもしれないと思いついています。いつでもどこでも発電できる「どこでも電源[®]」を実現し、日常のあらゆるシーンでの利便性の向上やIoTの促進に貢献していきたいですね。宇宙での発電も夢じゃないと思っていますし、モノづくり立国・日本の健在ぶりを世界に見せられたらと思います。



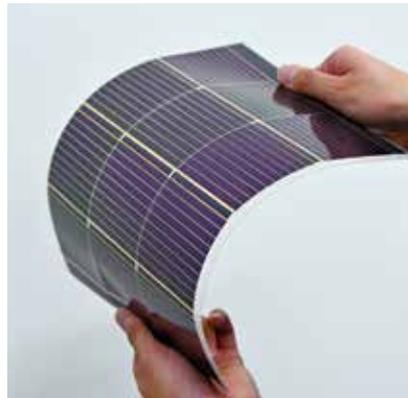
ペロブスカイト太陽電池と電球を電線でつなぎ蛍光灯の下に置くと、電球はすぐに光る。もちろん、手で光を遮ると消える。



〒613-0031
京都府久世郡久御山町佐古外屋敷
43番地の1
TEL : 0774-46-8081



「塗ってつくれる太陽電池」、それがペロブスカイト太陽電池のキーワードだ。現在はシリコン系太陽電池が主流で、日本の技術レベルは世界トップクラスを走る。ただひとつ問題があるとすれば、それは重さだ。民家の屋根に載っている平均的な4kWの発電システムだとパネルの総重量は約250kgか。メーカーによっては400kgにもなり、設置するのに膨大なコストがかかる。一方、ペロブスカイト太陽電池は材料を塗るだけで



フィルム状で折り曲げることも簡単。量産もしやすく低コスト化への期待も大きい。

塗ってつくれる これまでにない太陽電池

だが、その逆、光↓電気の研究を2006年に桐蔭横浜大学の宮坂力教授の研究グループが始めた。当初の変換効率はわずか3%と微々たるものであったが、研究が続けられ2016年には20%を超えた。世界がペロブスカイト太陽電池に注目しだしたのは、ここ数年のことである。

作ることができ、その厚さは2マイクロメートルと、髪の毛の40分の1ほどの薄さだ。また、照度によらない変換効率の良さも大きなメリットであると、代表の加藤尚哉氏は話す。「シリコン系太陽電池で高効率に発電するには、昼間の晴天のような高照度(約10万ルクス)の光が必要ですが、ペロブスカイト太陽電池なら朝夕や曇天時の弱い光、室内の照明下(200〜1000ルクス)でも効率良く発電できます」

「どこでも電源[®]」で 未来を切り拓く

同社は、これらのペロブスカイト太陽電池のメリットを生かした「どこでも電源[®]」化の実現へ向けて動き出している。現在、日本で使われているエネルギーのほとんどは化石燃料に依存している。その中でも石油の使用量が最も多く、約40%を占める。石油は中東地域から輸入しているため、安定的な供給

ゆえに、IoTセンサーの電源などさまざまなデバイスに活用できると考えられる。ビルの外壁や内装、カーテンなどの生地、災害用のテントでも自家発電が可能になるし、飛行機やドローン、果ては宇宙衛星や月面基地などさまざまな分野に展開できる可能性を秘めている。実際、エネコートテクノロジーズはJAXAとともに共同開発も行っている。



真空状態のグローブボックス内で作業をする様子。

が続くかどうか不安が残るところだ。加藤氏は「この電池で未来を創りたい」と語る。低照度で高効率な発電を実現する画期的な太陽電池を使った挑戦は、まだ始まったばかりだ。

調

査リポ

2023年3月期「中信景気動向調査」結果より

景気動向の概要

業況D.I.は、

前期比10.6ポイントの悪化

地元中小企業の経営環境は、前回調査時から10.6ポイント悪化の△30.2となり、業種別では、製造業(14.4ポイント減少)、卸売業(14.1ポイント減少)、小売業(7.4ポイント減少)、サービス業(10.2ポイント減少)、建設業(2.5ポイント減少)、不動産業(11.6ポイント減少)と全業種で悪化となりました。地元中小企業の景気感感は、4期連続の改善が期待されていたところですが、価格転嫁の問題や人手不足の影響により、回復のペースが足踏みした結果となりました。

業況D.I.の2023年6月期予想は、全業種平均で今期比5.8ポイント増加し改善で推移すると予想しています。業種別では、製造業(7.4ポイント増加)、卸売業(4.8ポイント増加)、小売業(18.6ポイント増加)、サービス業(7.7ポイント増加)は改善を予想、建設業(1.8ポイント減少)、不動産業(5.0ポイント減少)は悪化を予想しています。売上D.I.についても全業種平均で7.0ポイント増加の改善、収益D.I.も全業種平均で2.8ポイント増加の改善を予想しています。

調査要領

全体	643社	(調査時点 2023年2月)
製造業	214社 (33.3%)	サービス業 79社 (12.3%)
卸売業	98社 (15.2%)	建設業 126社 (19.6%)
小売業	82社 (12.8%)	不動産業 44社 (6.8%)

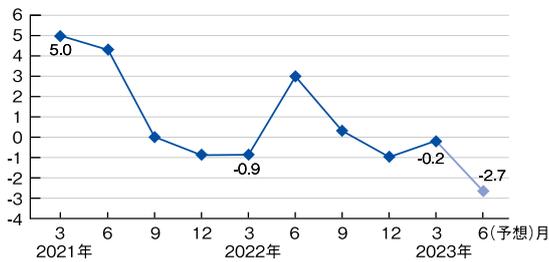
対象範囲 京都府内、一部の滋賀・大阪・奈良の当庫取引先939社
 回答数 643社 回答率 68.4%
 分析方法 D.I.(Diffusion Index)による
 *D.I.=「増加」(増加+やや増加)と回答された企業割合-「減少」(減少+やや減少)と回答された企業割合

今後の見通しについて、人流増加によるインバウンド消費の拡大や賃上げによる個人消費の増加により経済活動は緩やかに回復していくと予想されますが、人手不足による人件費の増加や価格転嫁の遅れにより、企業の収益性の悪化が懸念されます。引き続き海外情勢や原材料価格の動向等に注視する必要があり、先行きの不透明感が漂うなか、復調に転じることができるか、地元の中小企業を取り巻く経済情勢の動向が注目されます。

全業種

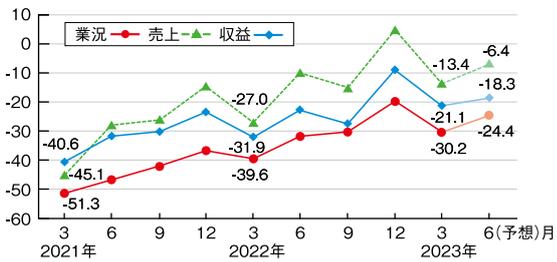
在庫 | 在庫D.I.は上昇

在庫D.I.の推移



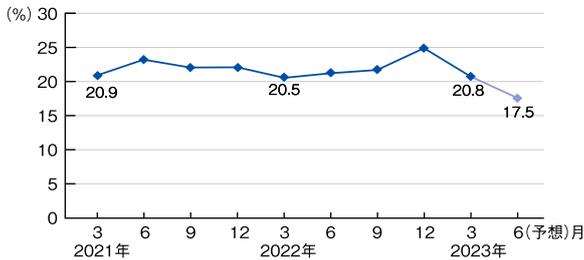
業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて悪化

業況・売上・収益D.I.の推移



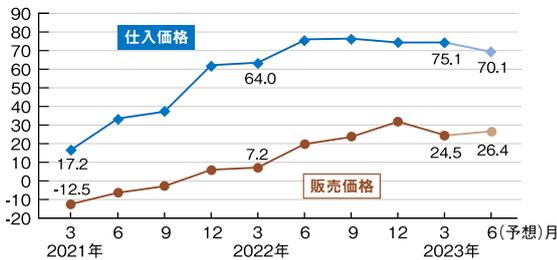
設備投資 | 依然として設備投資には慎重

設備投資実施割合

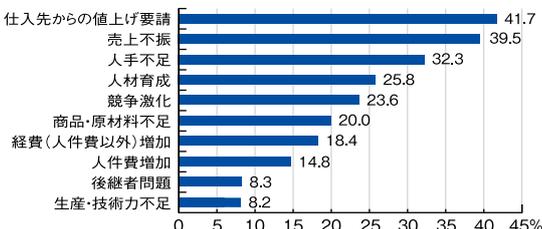


価格 | 販売、仕入価格D.I.はともに下降、乖離幅は拡大

価格D.I.の推移

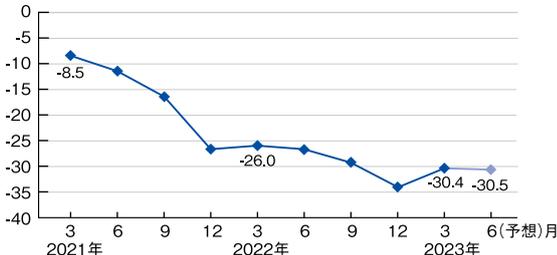


経営上の問題点 | 「仕先からの値上げ要請」が深刻

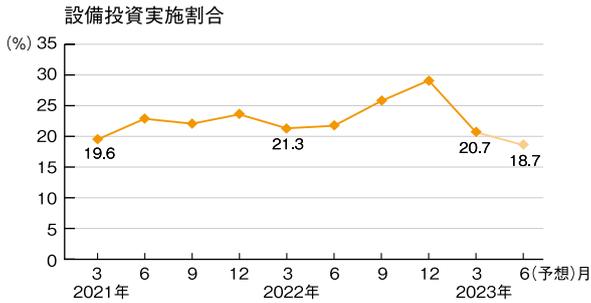


雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

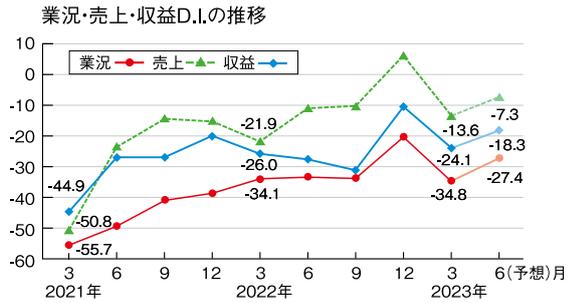
雇用状況D.I.の推移



設備投資 | 依然として設備投資には慎重



業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて大幅に悪化



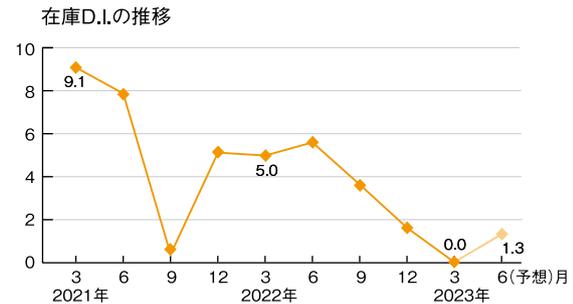
製造業

雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

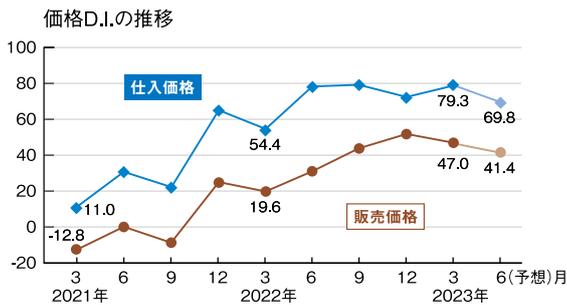
経営上の問題点 | 「仕入先からの値上げ要請」が深刻



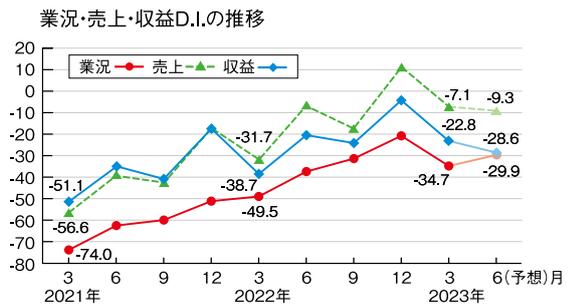
在庫 | 在庫D.I.は下降



価格 | 販売D.I.は下降、仕入価格D.I.は上昇、乖離幅は拡大



業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて大幅に悪化



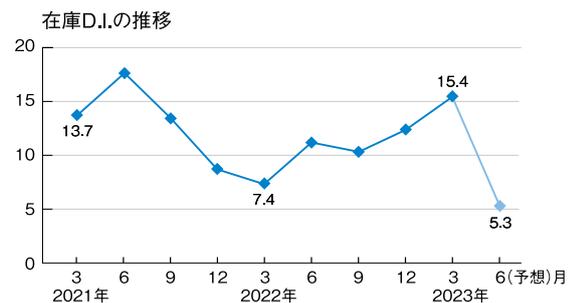
卸売業

雇用状況 | 雇用D.I.は下降

経営上の問題点 | 「仕入先からの値上げ要請」、「売上不振」が深刻



在庫 | 在庫D.I.は上昇



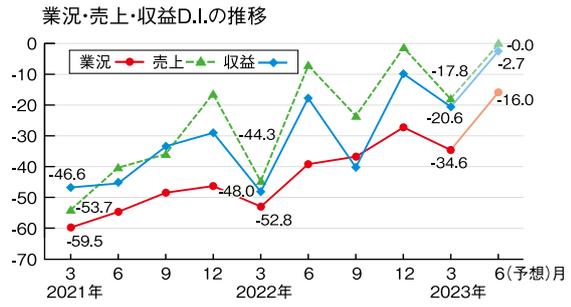


小売業

価格 | 販売価格D.I.は下降、仕入価格D.I.は上昇、乖離幅は拡大

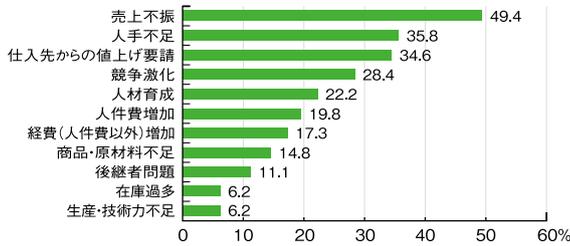


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて悪化

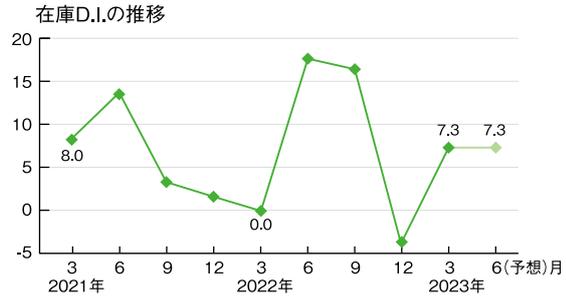


雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

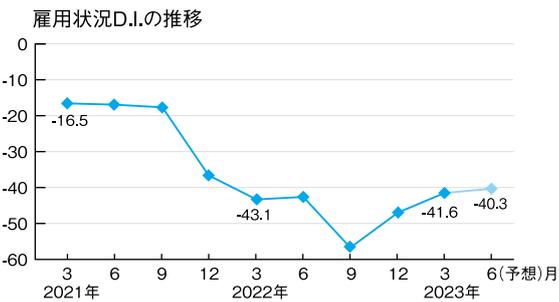
経営上の問題点 | 引き続き「売上不振」が深刻



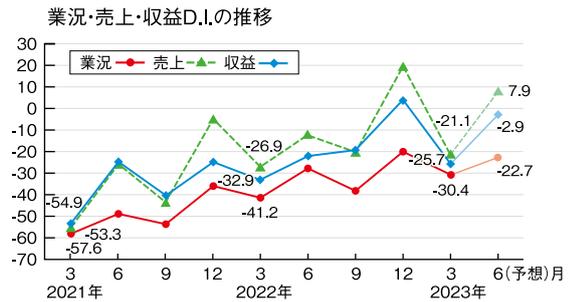
在庫 | 在庫D.I.は大幅に上昇



雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

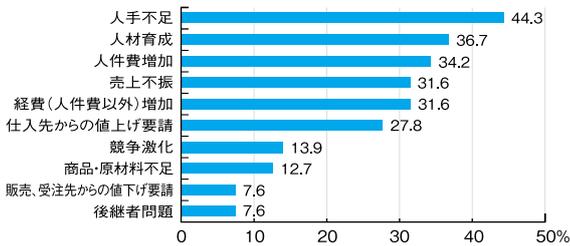


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて大幅に悪化

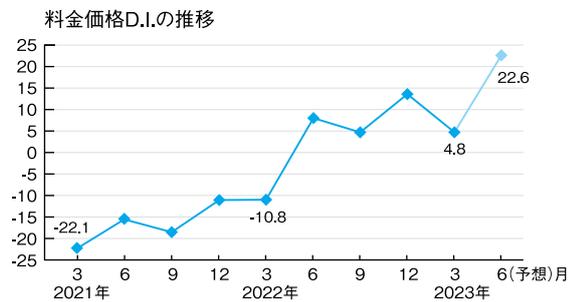


サービス業

経営上の問題点 | 引き続き「人手不足」が深刻



価格 | 料金価格D.I.は下降



価格 | 請負価格D.I.は下降

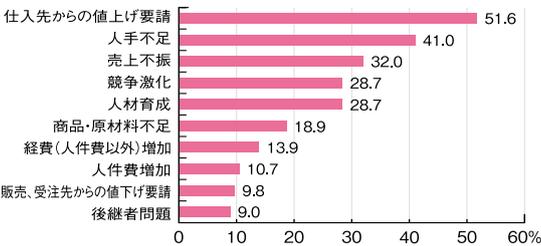


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて悪化

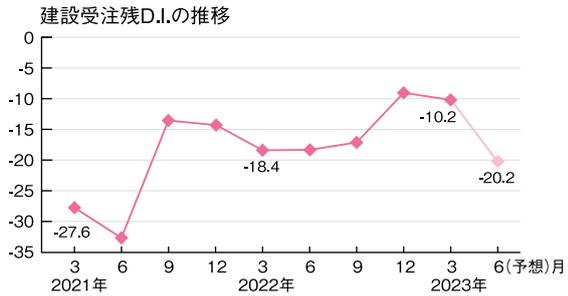


雇用状況 | 雇用D.I.は上昇

経営上の問題点 | 引き続き「仕入先からの値上げ要請」が深刻



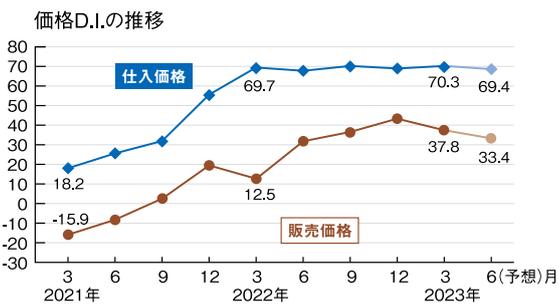
受注残 | 受注残D.I.は下降



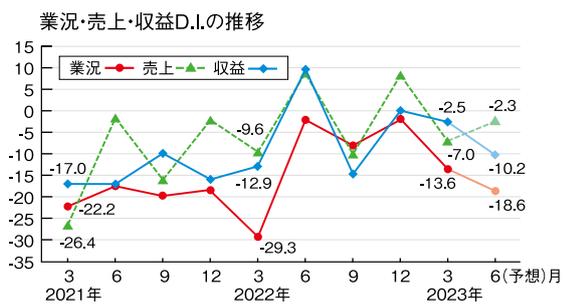
施工高 | 施工高D.I.は下降

在庫 | 在庫D.I.は下降

価格 | 販売価格D.I.は下降、仕入価格D.I.は上昇、乖離幅は拡大



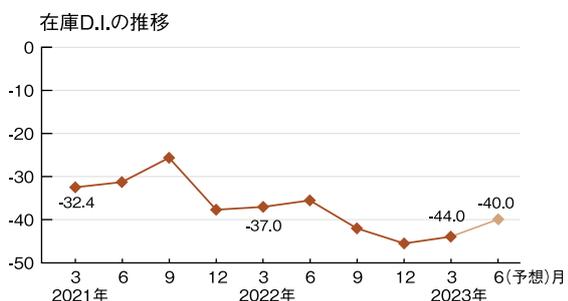
業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて悪化



経営上の問題点 | 「競争激化」が深刻



在庫 | 在庫D.I.は上昇



「中小企業におけるデジタル化への対応」について

調査先数 939社
有効回答数 643社
調査日 2023年2月

1 2023年10月に開始予定の「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」へ向けて、インボイス（適格請求書）発行事業者への登録申請を求める動きがありますが、どのように対応していますか。

インボイス制度の対応について、回答先の大多数は課税事業者であり、「既に登録申請を行った」との回答が82.3%と最も多い回答となりました。免税事業者では、「近いうちに登録申請を行う予定」が1.9%、「まだ対応方針は決めていない」が1.6%となりました。

2 電子帳簿保存法（電帳法）が改正され、請求書などに関する電子データを送付・受領した場合に、その電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。この改正について、どれぐらいの認知度にありますか。また、対応はできていますか。

全体では「認知度」については「意味はある程度わかる」が59.4%と半数以上となり、次いで「内容までよく知っている」が21.3%となりました。また、「対応」については「一部対応できている」が38.6%と最も多く、次いで「対応できていない」が26.9%となりました。

3 企業間での資金決済の際、手形をどの程度利用していますか。また、でんさい（電子記録債権）をどの程度利用していますか。

全体では、資金決済における「手形」の利用については、「全く使っていない」が56.2%と半数以上となりました。また、「でんさい」についても、「全く使っていない」が67.9%と6割以上となりました。

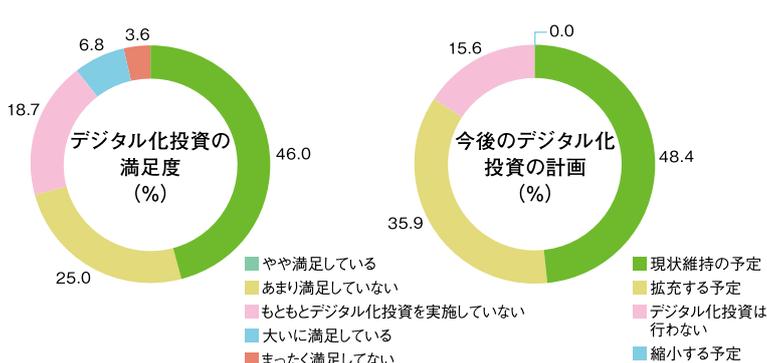
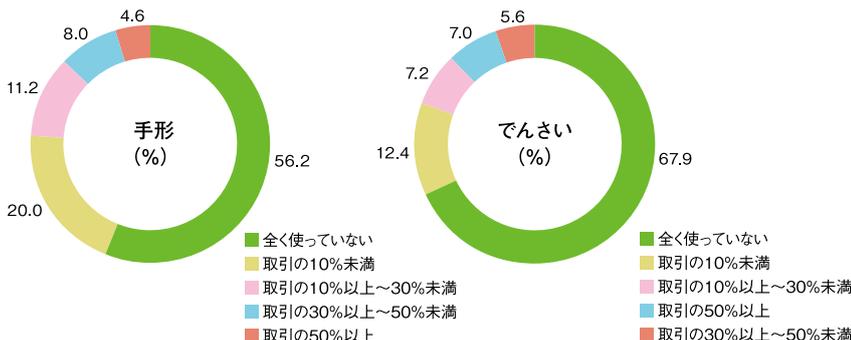
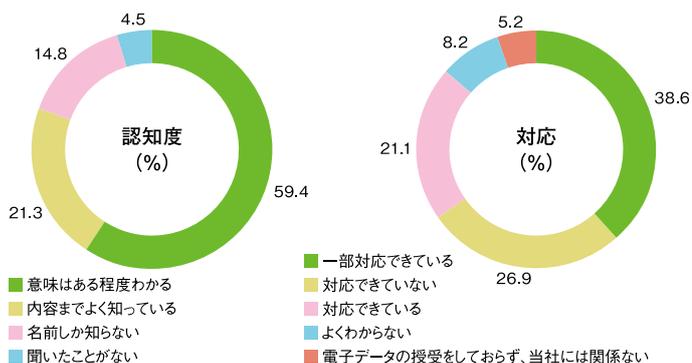
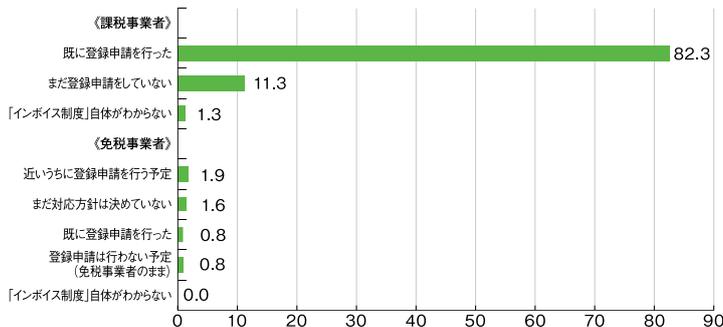
4 これまで行ってきたデジタル化投資（コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果について、どのように感じていますか。

全体では、「デジタル化投資の満足度」について、「やや満足している」が46.0%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が25.0%となりました。今後のデジタル化投資の計画については、「現状維持の予定」が48.4%と最も多く、次いで「拡充する予定」が35.9%となりました。

5 デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。

全体では、「セキュリティの確保への不安」が16.6%で1位、「導入・維持にかかるコスト負担が大きい」が15.1%で2位、「情報分野に長けた社員の不足」が14.9%で3位、「費用対効果の把握が困難」が13.6%で4位、「トラブル発生時の対応が困難」が12.8%で5位、「活用方法に関する知識の不足」が12.1%で6位、「技術革新が速すぎて対応しきれない」が7.8%で7位、「経営者・社員が必要と感していない」が4.0%で8位、「その他」が0.3%で9位、「特に問題点・課題はない」が3.0%で10位となりました。

インボイスの対応 (%)



デジタル化を進めるに際しての問題点・課題 (%)



「賃金改定、雇用の見通し」について

各グラフの凡例

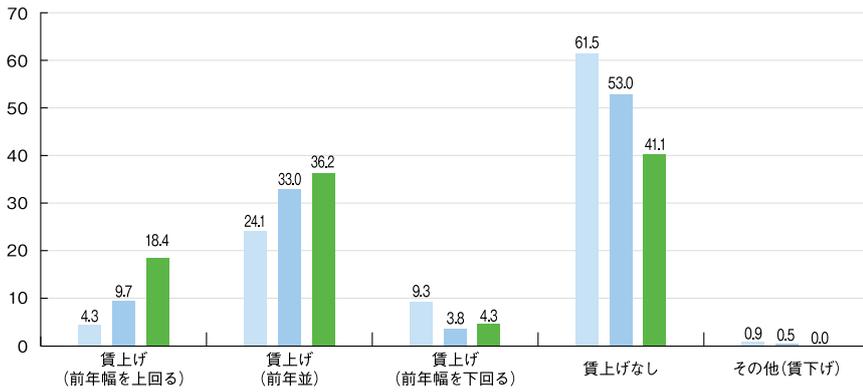
2021年 2022年 2023年

調査先数 939社
有効回答数 643社
調査日 2023年2月

1 2023年度の賃金改定の方針は？

賃上げの回答合計(前年幅を上回る+前年並+前年幅を下回る)が58.9%、「賃上げなし」が41.1%、「賃下げ」等が0%となり、賃上げの回答合計が前年46.5%から12.4ポイント増加しました。前年並以上の回答合計は54.6%で、前年の42.7%から11.9ポイント増加しました。一方、「賃下げ等」は0%で前年(0.5%)を下回っています。

賃金改定の方針 (%)

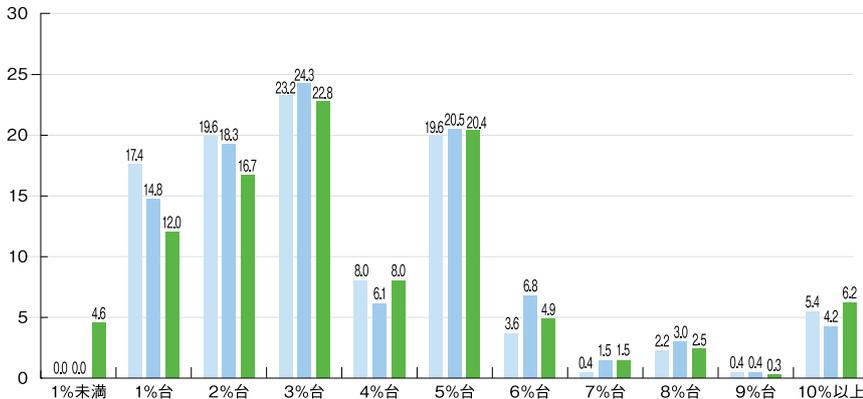


2 改定率とは？

「賃上げ」と回答された方のみ、改定率の予定についてお答えください

賃上げすると回答した企業に改定率を尋ねたところ、「3%台」の22.8%が最も高く、次いで「5%台」が20.4%となりました。

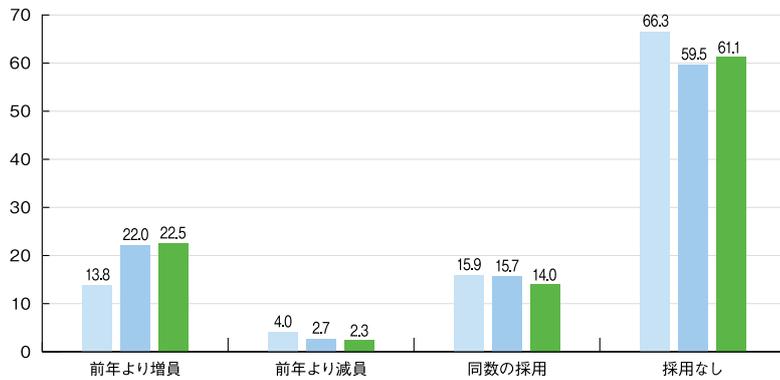
改定率 (%)



3 2023年度の採用予定人員は？

「採用なし」が61.1%と前年より1.6ポイント増加しており、依然として高い割合を占めています。また、「同数の採用」は14.0%で前年より1.7ポイントの減少、「前年より減員」は2.3%で前年より0.4ポイント減少、「前年より増員」は22.5%で前年とほぼ横這いの結果となっています。

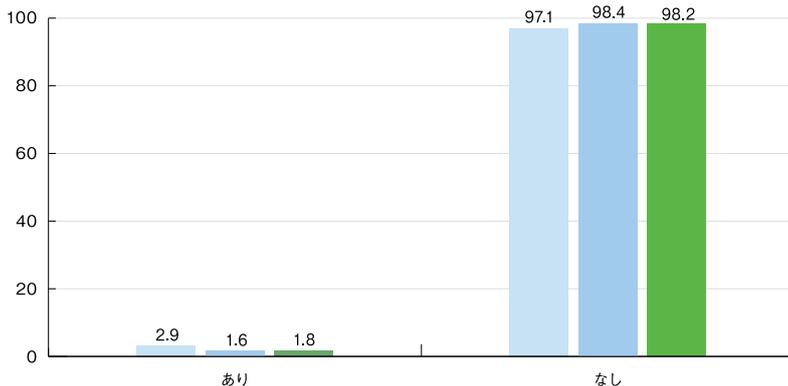
採用予定 (%)



4 現人員の削減予定は？

「現人員の削減予定「あり」との回答割合は1.8%で、前年とほぼ横這いとなっています。

現人員の削減予定 (%)





線に込める想い

石本正

ISHIMOTO SHO



《天王の牡丹》1996年 浜田市立石正美術館蔵

2023 4/11(火) — 5/31(水) 無入料場

開館時間：午前10時～午後5時(入場は午後4時45分まで)

休館日：月曜日、5月1日(月)～5月8日(月)は臨時休館

主催：公益財団法人中信美術奨励基金、京都新聞

協力：浜田市立石正美術館、京都中央信用金庫 後援：朝日新聞社

京博連 文化庁 京都
中信美術館

■お問い合わせは財団事務局
 京都中央信用金庫 On Your Side 事業部 CSR 推進課
 TEL.075(223)8385 FAX.075(223)2563



京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136-3
 (京都府庁正門西約100メートル) 専用駐車場はございません
 地下鉄：丸太町下車10分 市バス：堀川下立売下車2分
 TEL.075(417)2323

感染症対策(ご来館のお客様へお願い) ・発熱や咳など風邪のような症状がある方はご来館をお控えください。熱などの症状が認められた場合、入館をお断りする場合があります。
 ・展示室内温度時に入場制限をさせていただくことがあります。・新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合があります。・最新情報は「中信美術館」のホームページにてお知らせします。

発行 | 2023.4

京都中央信用金庫 On Your Side事業部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地

TEL (075)223-8385 / FAX (075)223-2563

URL <https://www.chushin.co.jp>

印刷 | 佐川印刷株式会社



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。